

のり海況速報 第7報 (26-7)

平成26年12月24日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 12/19：内湾(ふさなみ)、12/18：内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(12/11-22)、東京湾口海況図(12/11-22)
 自動観測ブイデータ(12/11-22)、拓南観測データ(12/11-22)
 モニタリングポスト(12/19：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は今月に入って冬型の強まりによって順調に低下し、19日現在おおむね10～12℃台まで低下しています。塩分はほぼ31～32台で、平年よりやや高めになっています。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近まではほぼ一様に分布しています。
- ・内房北部の表層水温も11～13℃台まで下がっています。
- ・東京湾口への沖合水の流入は11月28日から12月2日にかけて波及した後、弱まったものの、19日頃から再び強まり、22日現在水温17℃台の水塊が金谷から久里浜を結ぶライン付近まで波及していますので、この動きには注意が必要です。

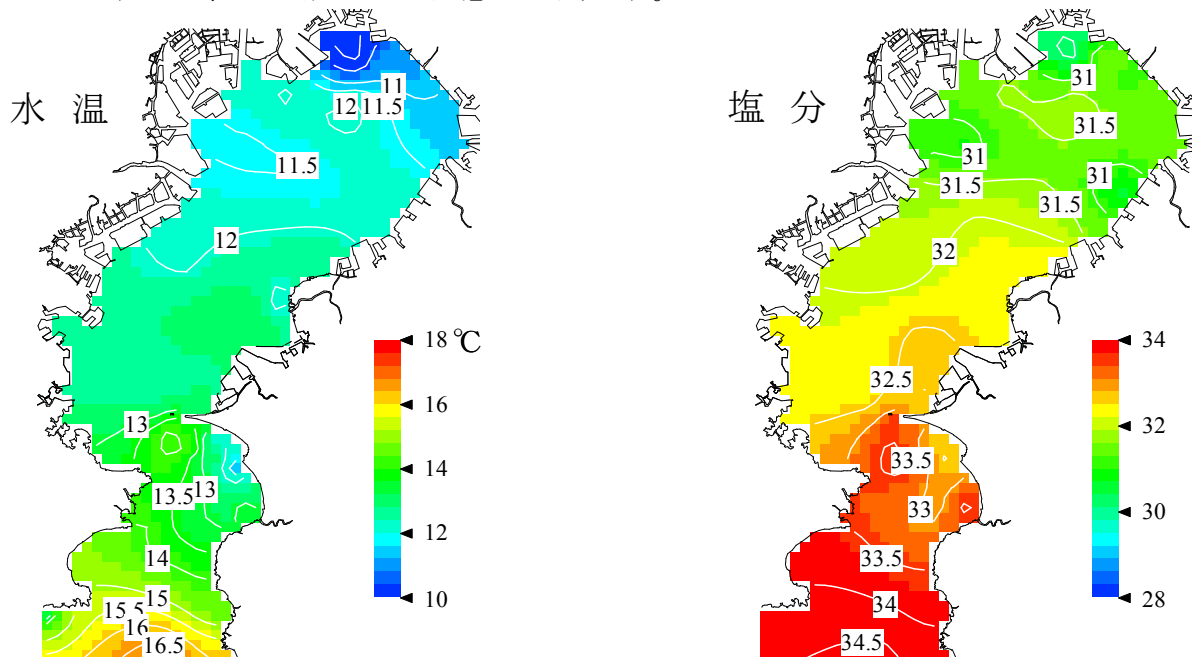


図1 表層の水温・塩分の分布(平成26年12月18-19日)

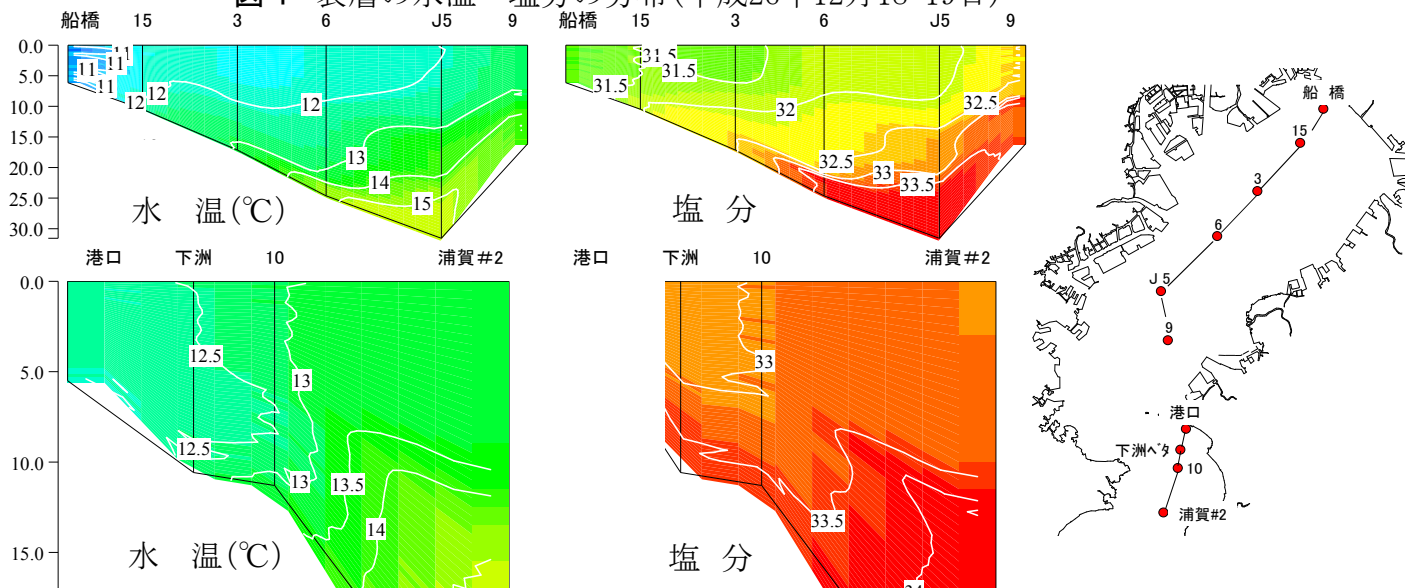


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成26年12月18-19日)

(上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮は全域で発生していませんが、スケルトネマやタラシオネマなどのケイ藻プランクトンが増加し始め、内湾では水色が褐色を帯びてきているところがありました。さらに、透明度は千葉北部地区ノリ漁場付近で2m台まで低下していました。
- 表層の栄養塩(図3)は窒素(DIN)・リン(DIP)とも前回(12/8-9)より少なくなっているものの十分あり、いまのところのり養殖にとって問題ない濃度です。

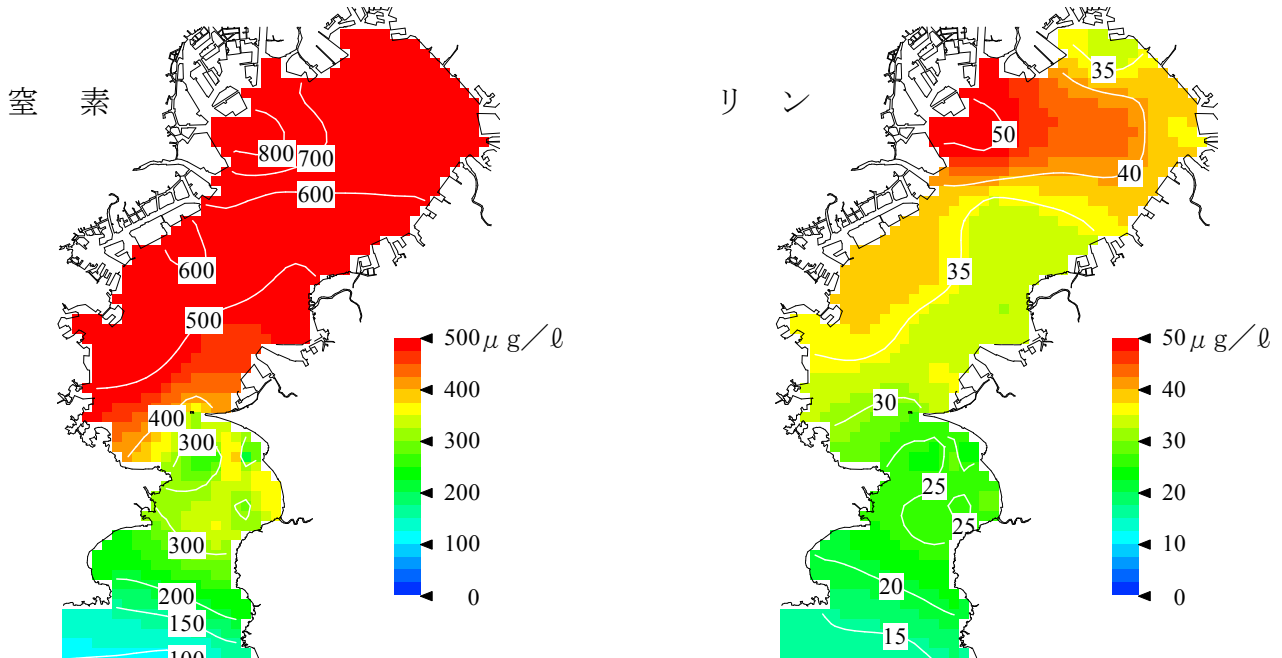


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成26年12月18-19日)

り養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各り養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”り養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html